



IPカメラとレコーダの動体検知設定・再生手順

取扱説明書

GJデザインファーム

目次

0. はじめに	1
0.1. このマニュアルについて	1
0.2. 免責事項	1
0.3. 記号の定義	2
1. 動体検知の設定	3
1.1. IPカメラの設定	3
2. スケジュール設定	6
2.1. 終日動体検知録画のみにする	6
2.2. 通常録画と動体検知録画を併用する	8
3. 録画の確認方法	10
3.1. 通常検索	10
3.2. 動体検知録画のイベントを再生	13

0. はじめに

0.1. このマニュアルについて

このマニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像などの情報はすべて、説明のみを目的としています。このマニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で事前の通知なく変更されることがあります。

このマニュアルの最新版については GraspHERE の Web サイト (<https://www.graspHERE.com/>) をご確認ください。この製品に関するサポート訓練を受けている専門家の指導や援助を受けた上でこのマニュアルを使用してください。

0.2. 免責事項

適用法により許容される範囲内で、このマニュアル、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合や瑕疵を含め、現状有姿で提供されるものとします。GRASPHERE では明示の有無によらず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的に対する適合性を含むが、これらに限定しない）を行いません。この製品は、ユーザーの責任で使用してください。GRASPHERE は、この製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、システムの破損、文書の損失に関する損害を含む特別、必然的、偶発的または間接的な損害に対して、契約の違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他を問わず、たとえ GRASPHERE がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

ユーザーは、インターネットの性質上、セキュリティリスクが内在していることを承知するものとし、GRASPHERE は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のインターネットセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとし、ただし、必要に応じて GRASPHERE は適宜技術サポートを提供します。




ユーザーは、この製品をすべての適用法に従って使用することに同意するものとし、使用方法が適用法に準拠するようにすることについては、ユーザー自身が一切の責任を負うものとし、特に、ユーザーは、第三者の権利（パブリシティ権、知的財産権、データ保護、および他のプライバシー権を含むが、これらに限定しない）を侵害しない方法でこの製品を使用することに責任を負います。ユーザーはこの製品を、大量破壊兵器の開発または製造、生物化学兵器の開発または製造、いかなる核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する状況または人権侵害の支援での一切の活動を含む、いかなる禁止された最終用途にも使用しないものとし、

このマニュアルと適用法との間に矛盾が存在する場合は、後者が優先されます。

0. はじめに

0.3. 記号の定義

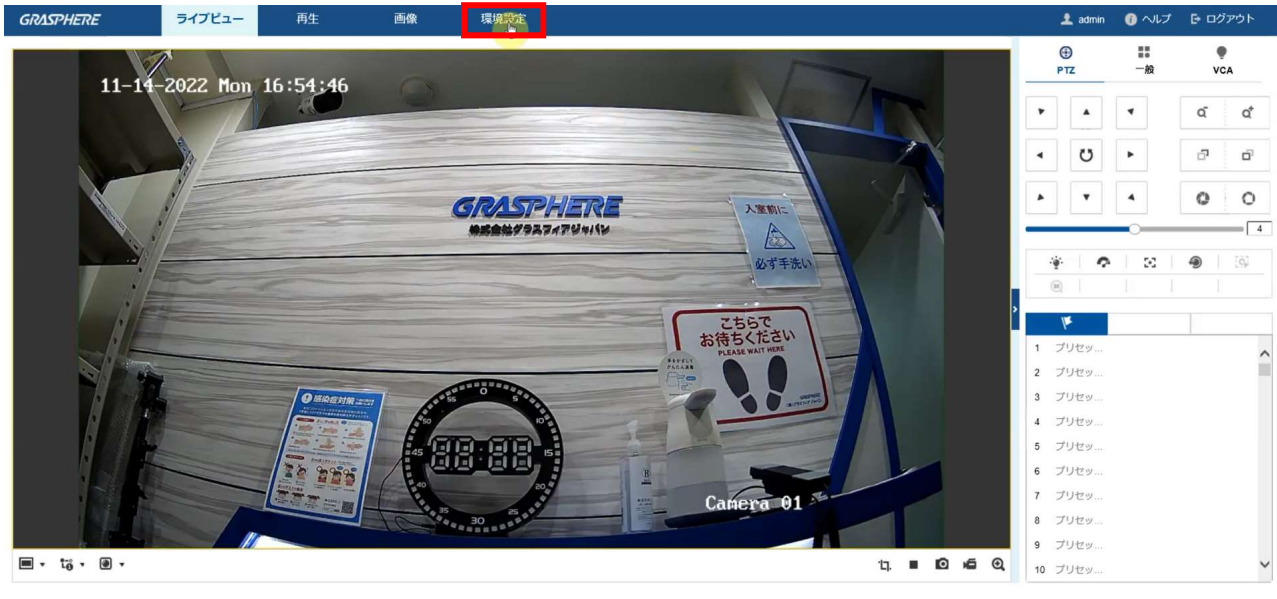
このマニュアルで使用する記号は以下のように定義されています。

記号	説明
 危険	防止できなかった場合に死亡や重傷を招くおそれのある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を示しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 注記	本文内の重要事項を強調または補足する追加情報を提供します。

1. 動体検知の設定

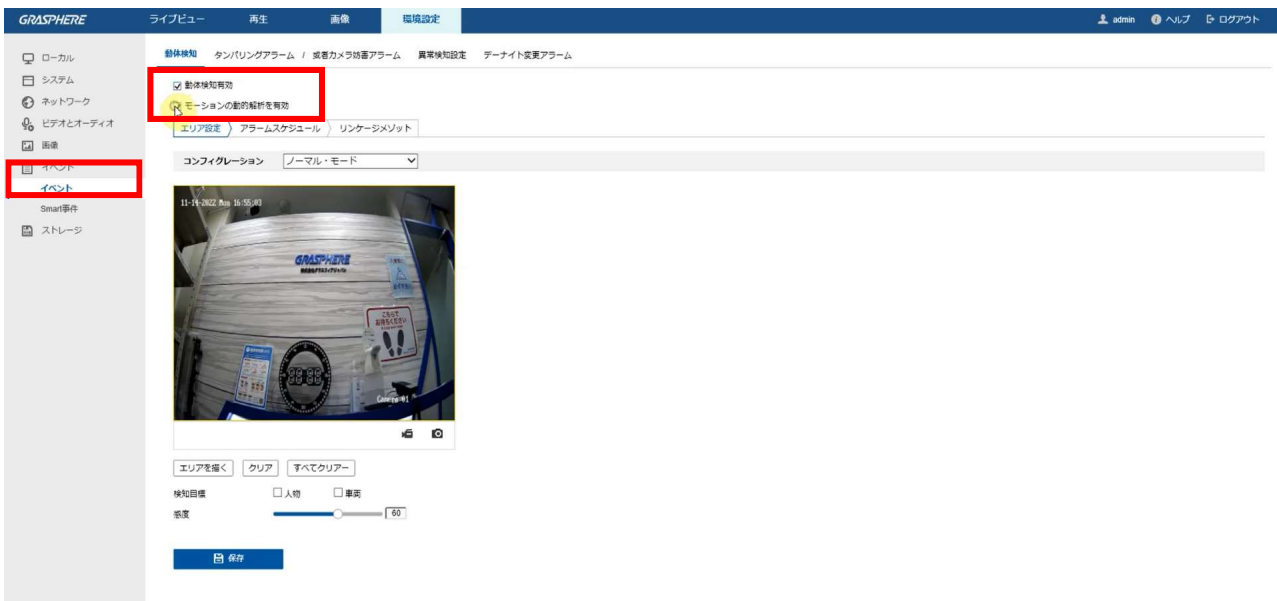
1.1. IPカメラの設定

(1) [環境設定]をクリックします。



(2) [イベント]をクリックします。

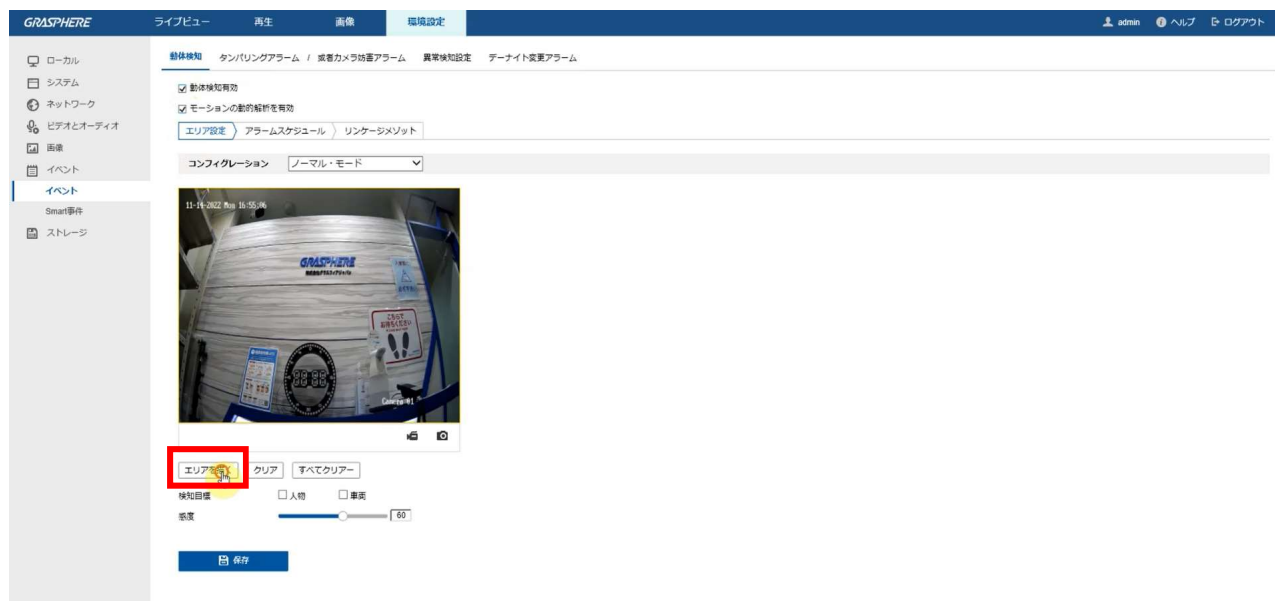
[動体検知有効]と[モーションの動的解析を有効]に☑を入れます。



1. 動体検知の設定

1.1. IPカメラの設定

(3) [エリアを描く]をクリックします。



(4) 左クリックすると頂点を決定します。左クリックした状態で動体検知エリアを画面上に範囲指定で描画します。描画が終了したら右クリックで描画を終了します。



i 注記

左クリックを行う度に頂点の設定が可能です。多角形で動体検知エリアを描画できます。

1. 動体検知の設定

1.1. IPカメラの設定

(5) [保存]をクリックします。

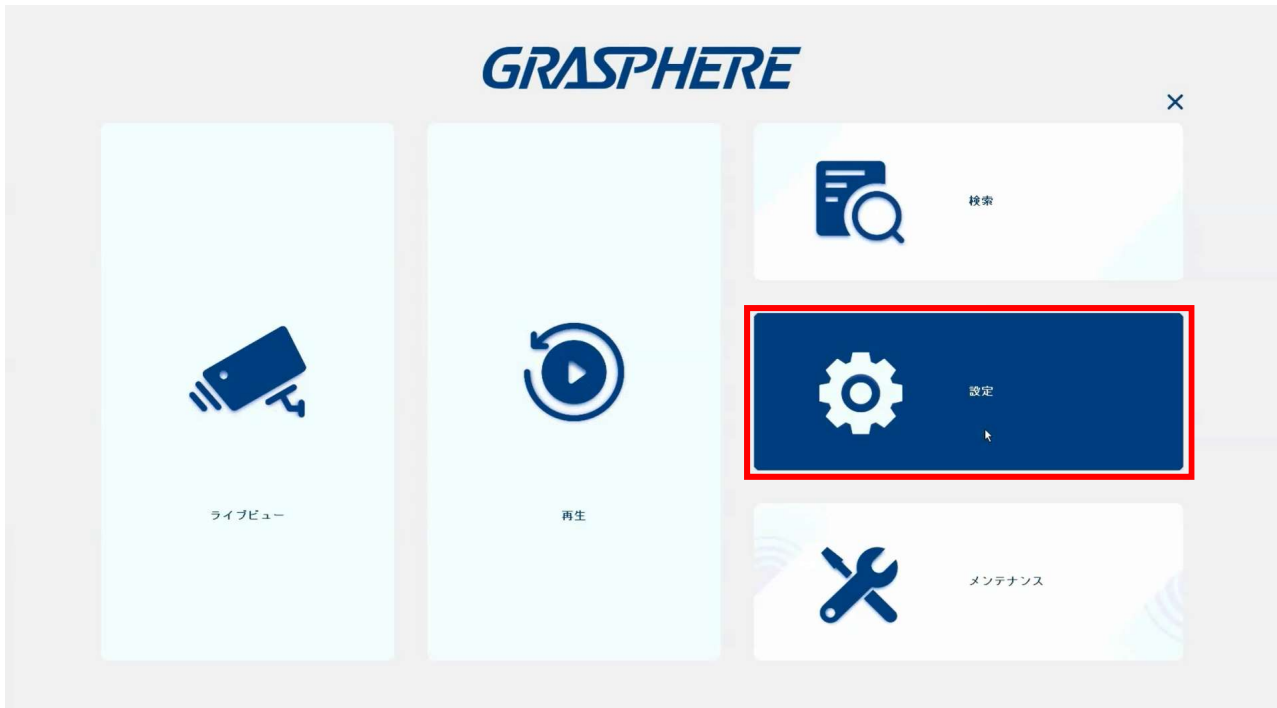
正常に保存が完了すると画面右下に「保存成功」のポップアップが表示されます。



2. スケジュール設定

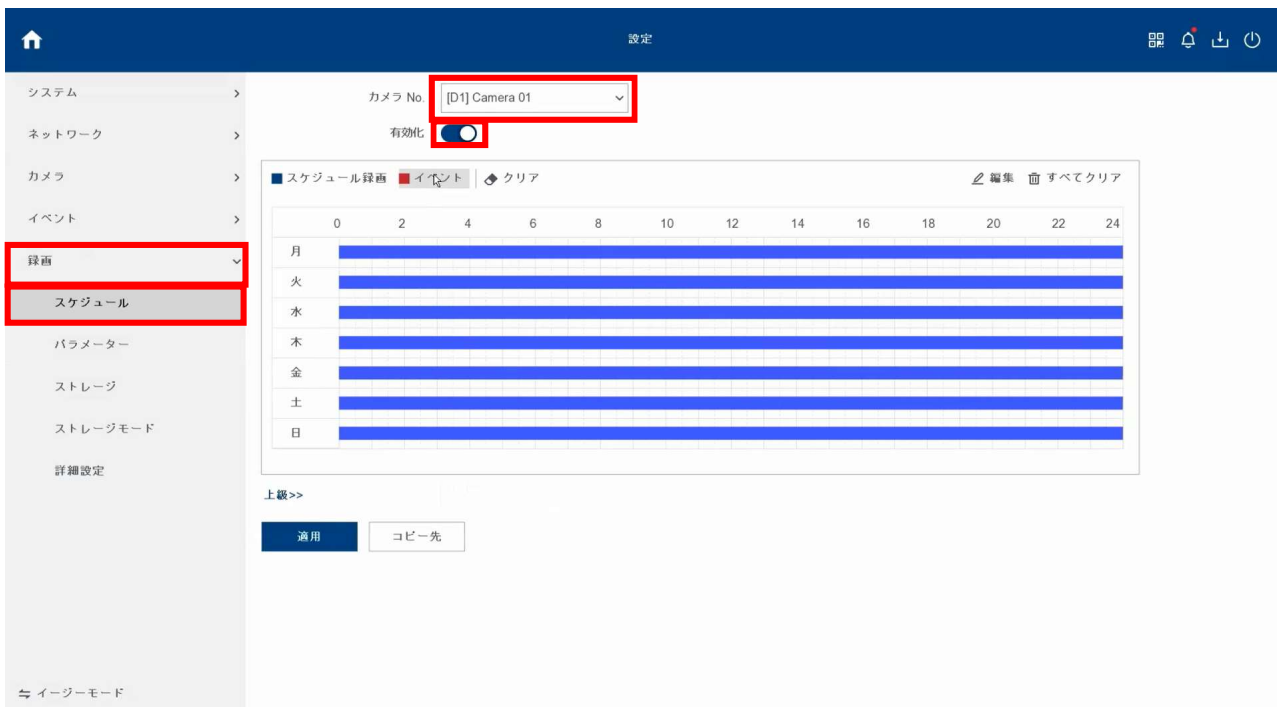
2.1. 終日動体検知録画のみにする

(1) [設定]をクリックします。



(2) [録画]→[スケジュール]をクリックします。

スケジュールを設定するカメラを選択して[有効化]をクリックします。



2. スケジュール設定

2.1. 終日動体検知録画のみにする

(3) [イベント]をクリックします。

スケジュール設定範囲を左クリックした状態でスケジュール上に範囲指定で描画します。

The screenshot shows the '設定' (Settings) page for camera [D1] Camera 01. The '有効化' (Enable) toggle is turned on. In the 'スケジュール録画' (Schedule Recording) section, the 'イベント' (Event) option is selected and highlighted with a red box. Below it, a 24-hour timeline grid shows blue bars representing the recording schedule for each day of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日). A red box highlights the 'イベント' button and the timeline grid. At the bottom, there are buttons for '適用' (Apply) and 'コピー先' (Copy to).

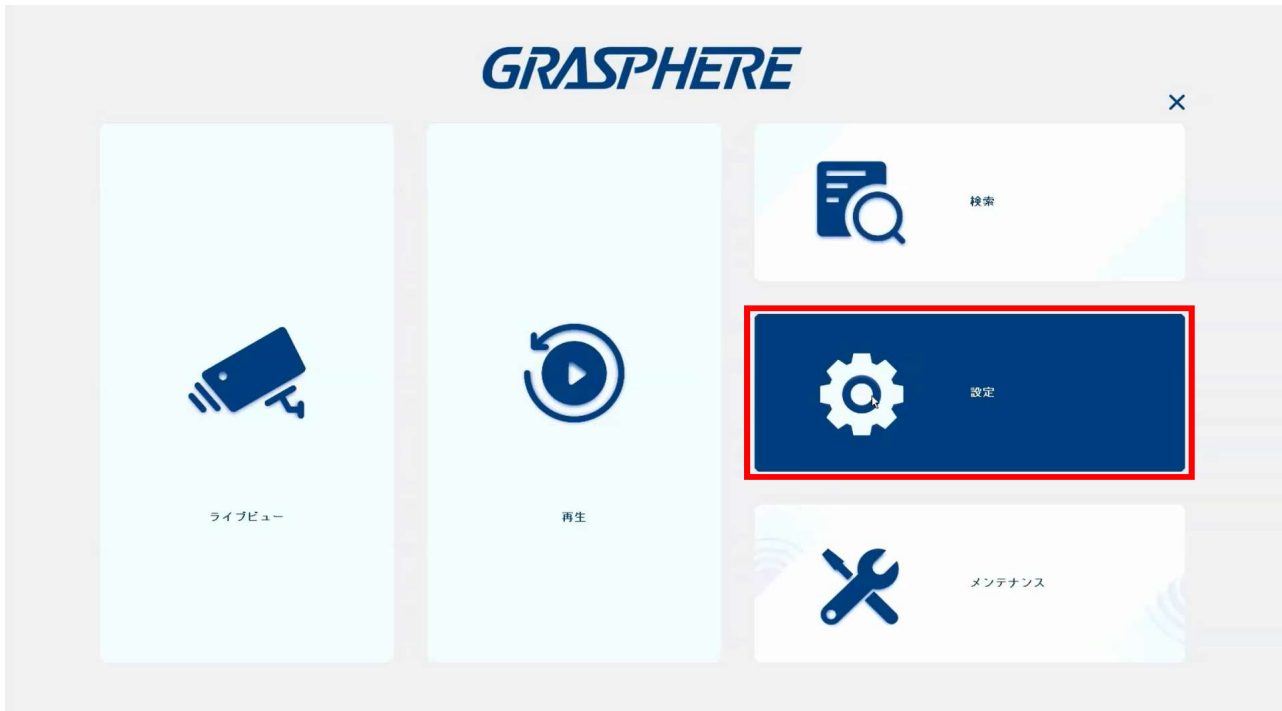
(4) スケジュールの範囲指定を描画するとスケジュールが「イベント」に対応した赤色のタイムテーブルに更新されたことを確認して[適用]をクリックします。

This screenshot is similar to the previous one, but now the 'スケジュール録画' (Schedule Recording) section shows the 'イベント' (Event) option selected. The timeline grid below it now displays red bars, indicating that the schedule has been updated to event-based recording. The '適用' (Apply) button at the bottom is highlighted with a red box, indicating the next step in the process.

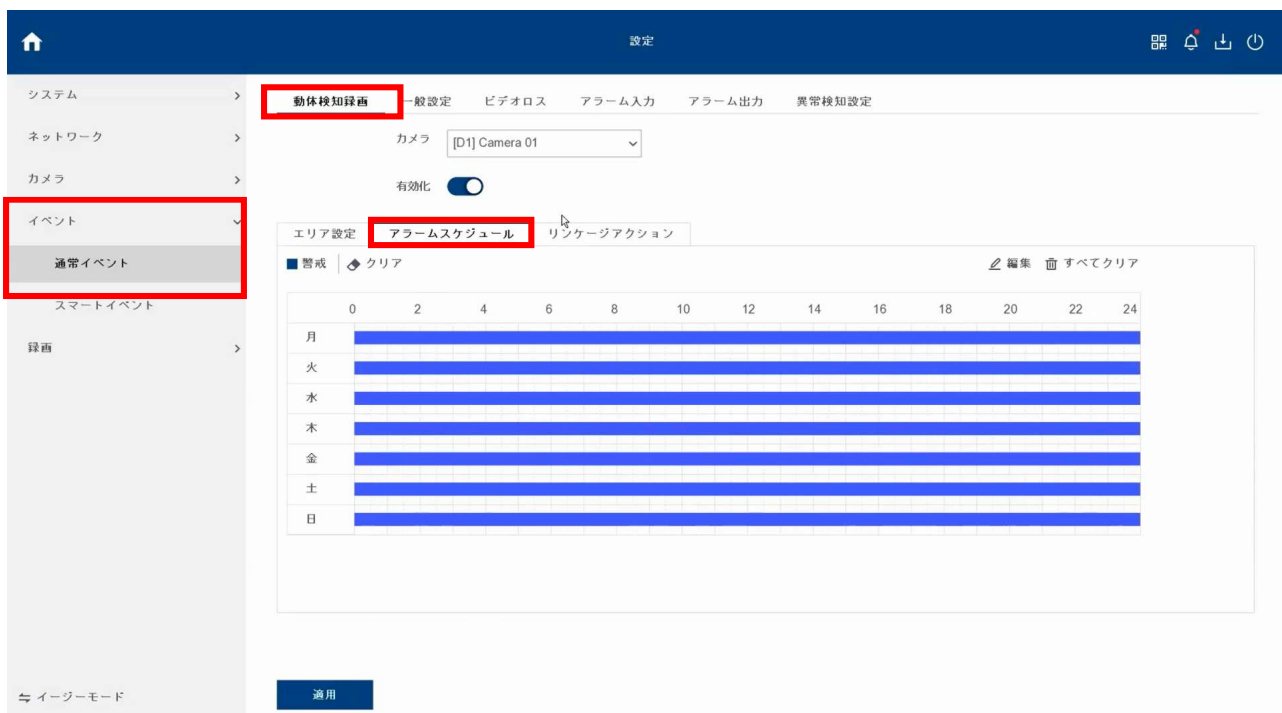
2. スケジュール設定

2.2. 通常録画と動体検知録画を併用する

(1) [設定]をクリックします。



(2) [イベント]→[通常イベント]→[動体検知録画]→[アラームスケジュール]をクリックします。



2. スケジュール設定

2.2. 通常録画と動体検知録画を併用する

(3) スケジュールを設定するカメラを選択して[有効化]をクリックします。

The screenshot shows the 'Alarm Schedule' configuration page in the GraspHERE web interface. The left sidebar contains navigation options: システム, ネットワーク, カメラ, イベント, 通常イベント, スマートイベント, and 録画. The main content area has tabs for 'エリア設定', 'アラームスケジュール', and 'リンケージアクション'. Under 'アラームスケジュール', there are sub-tabs for '警戒' and 'クリア'. The 'カメラ' dropdown is set to '[D1] Camera 01' and the '有効化' toggle is turned on. Below this is a grid for setting the recording schedule. The grid has columns for hours (0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24) and rows for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日). All cells in the grid are filled with blue bars, indicating recording is enabled for all days and hours. At the bottom right of the grid, there are icons for '編集' and 'すべてクリア'. A '適用' button is located at the bottom center of the page.

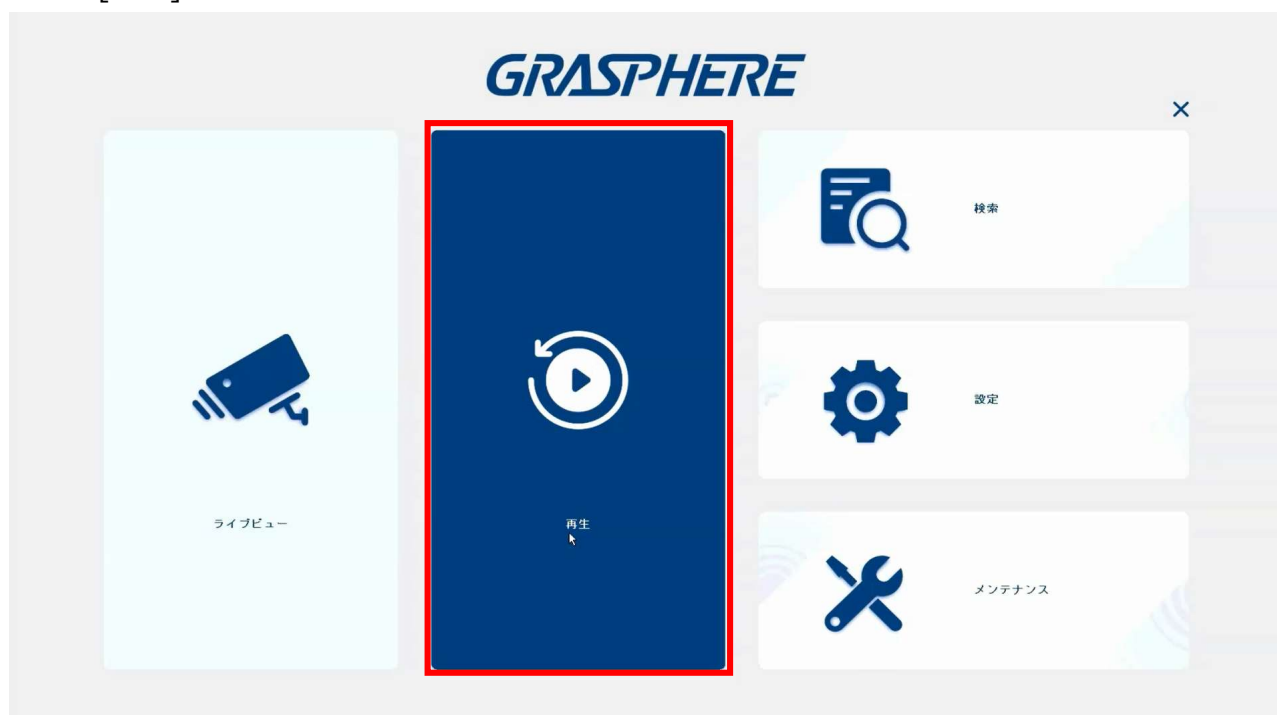
(4) [適用]をクリックします。

This screenshot is identical to the previous one, showing the 'Alarm Schedule' configuration page. The '適用' button at the bottom center of the page is highlighted with a red box, indicating the final step in the configuration process.

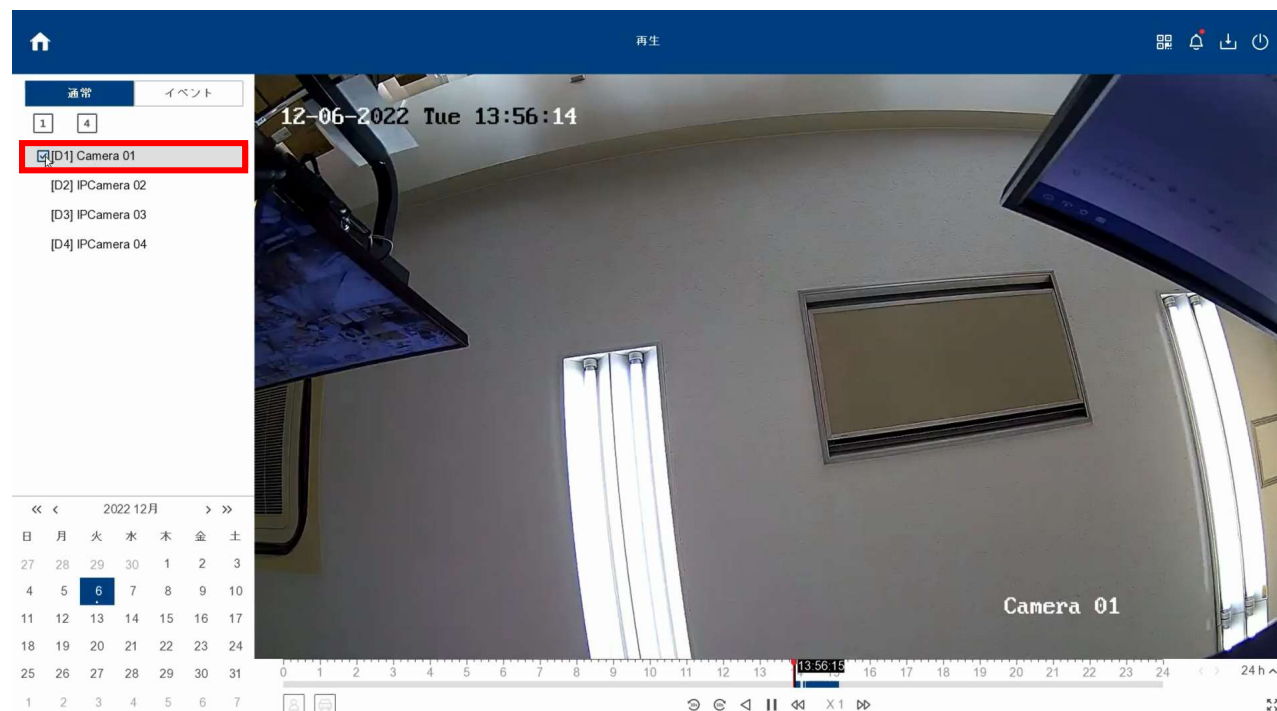
3. 録画の確認方法

3.1. 通常検索

(1) [再生]をクリックします。



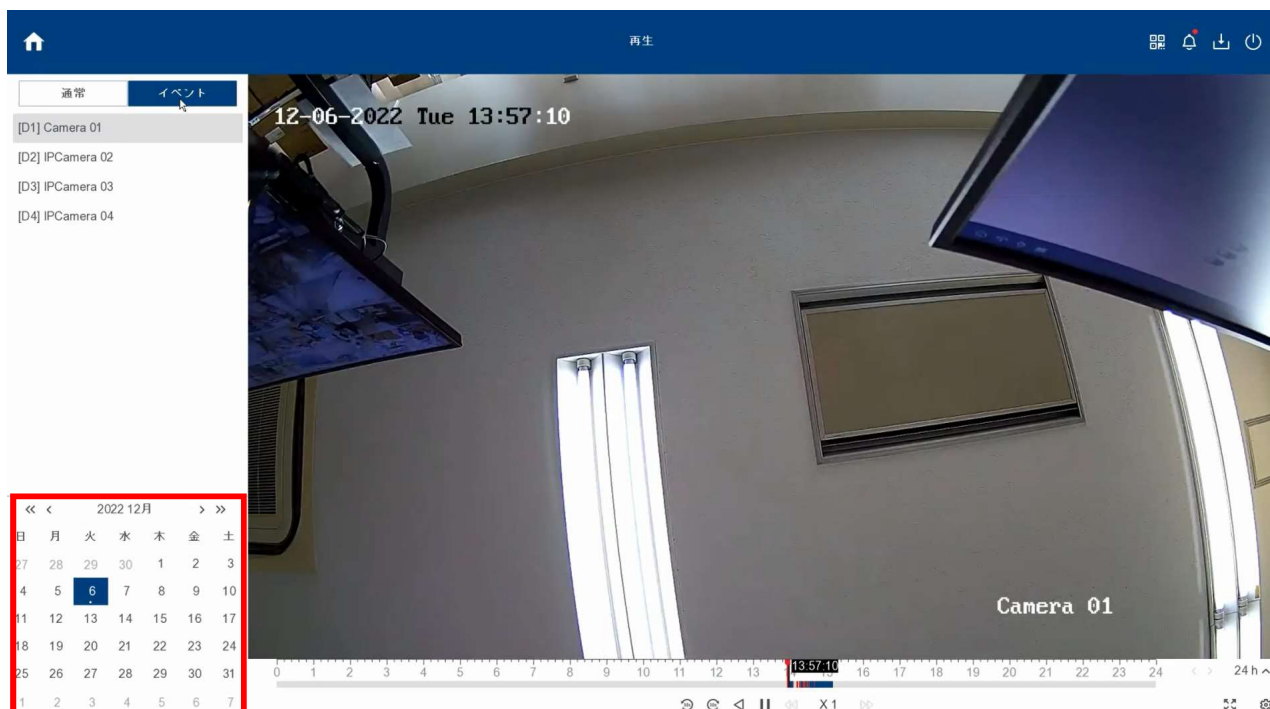
(2) 録画を検索するカメラに☑を入れます。



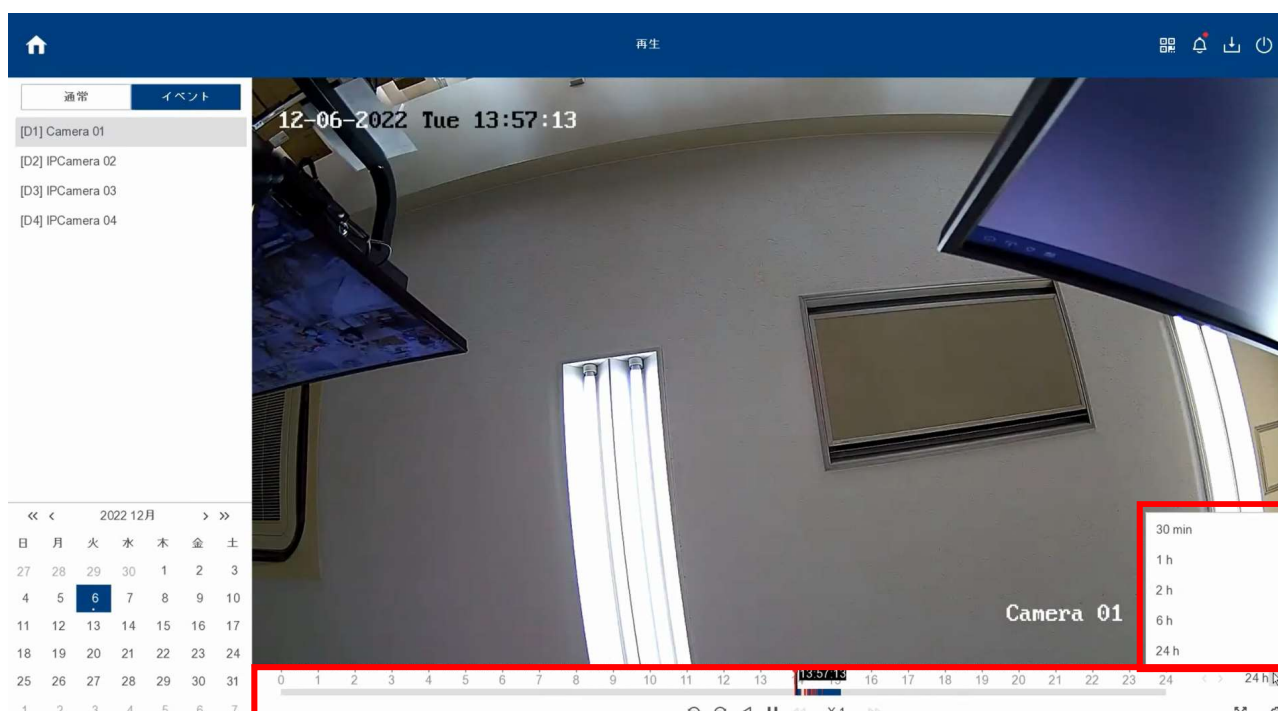
3. 録画の確認方法

3.1. 通常検索

(3) 録画を検索する日付を選択します。



(4) 録画を検索する時間を選択します。再生のツールバーの時間軸を選んで調整できます。



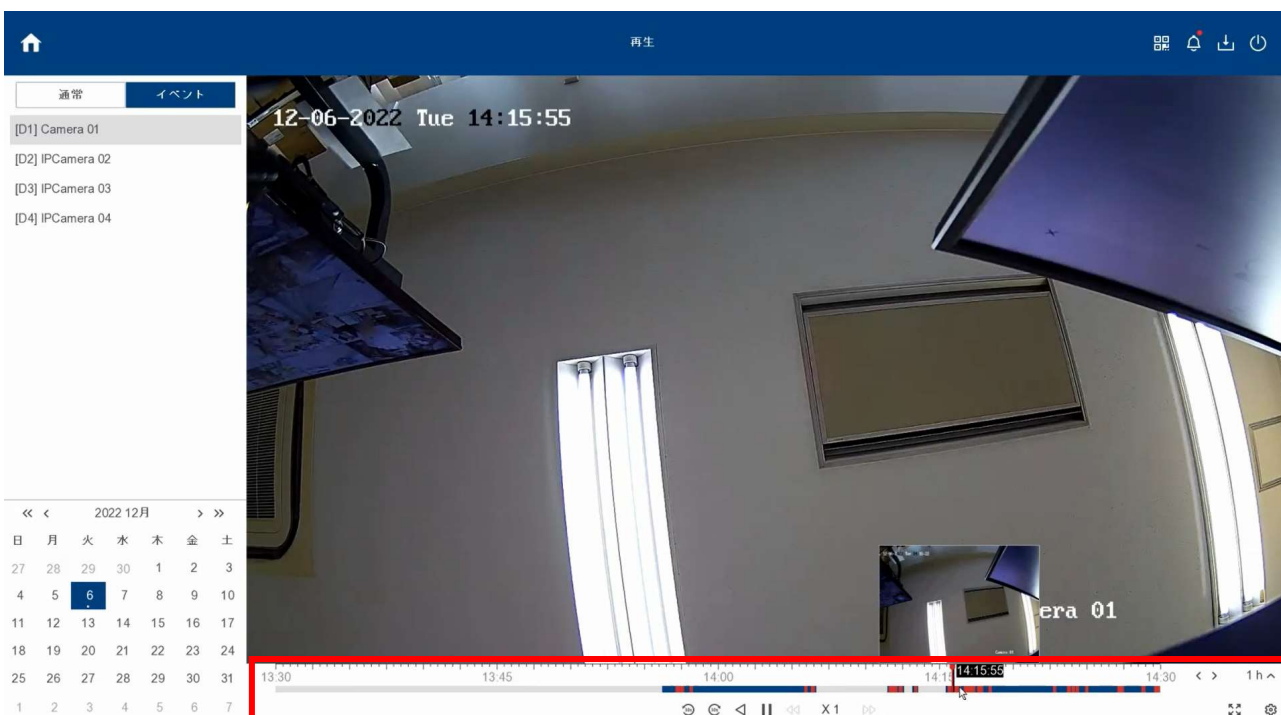
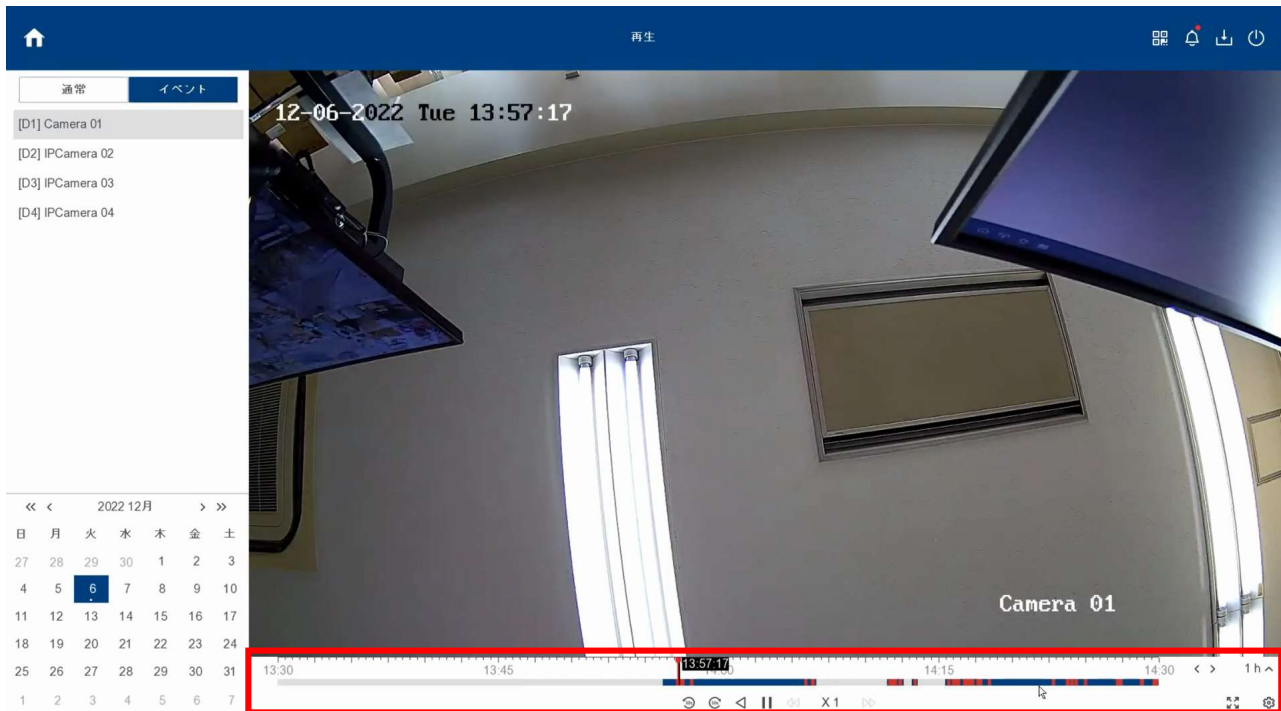
3. 録画の確認方法

3.1. 通常検索

(5) 再生のツールバーを操作して録画を確認できます。カーソルを合わせると詳細な再生時間が表示されます。再生のツールバーでは下記の状態が表示されます。

青：スケジュール録画のデータがあることを示します。

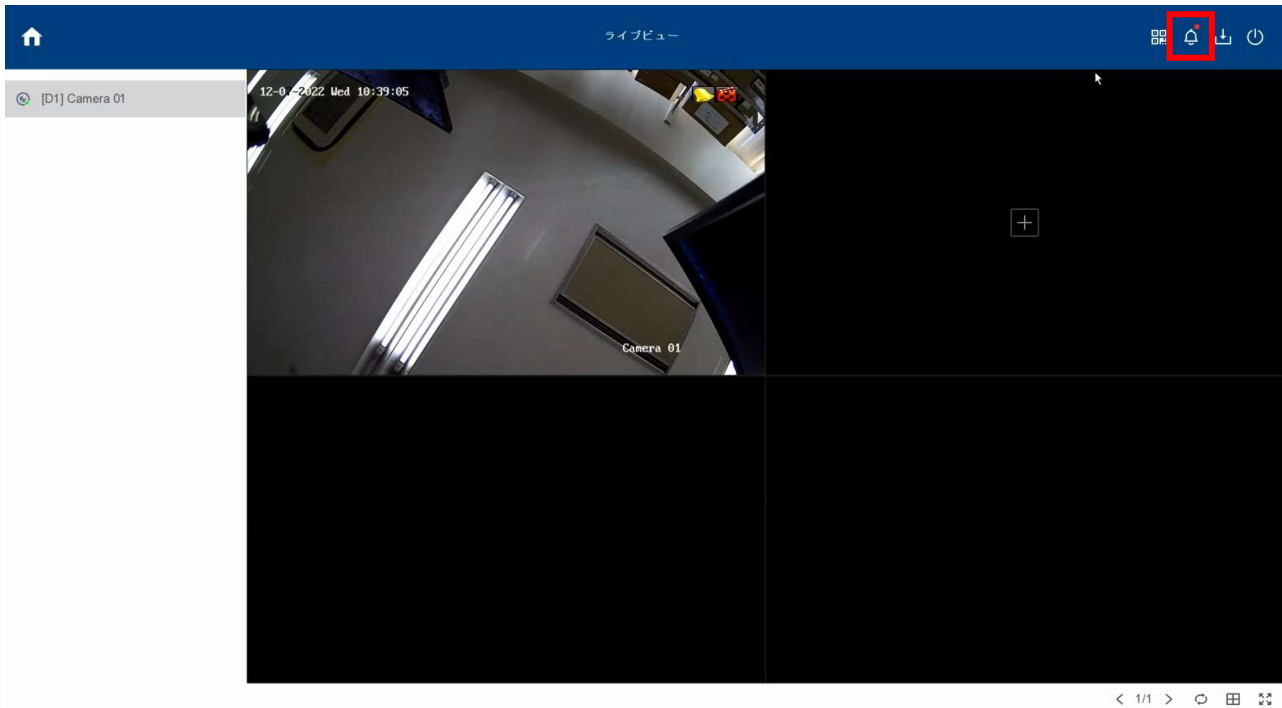
赤：動体を検知して録画したデータがあることを示します。



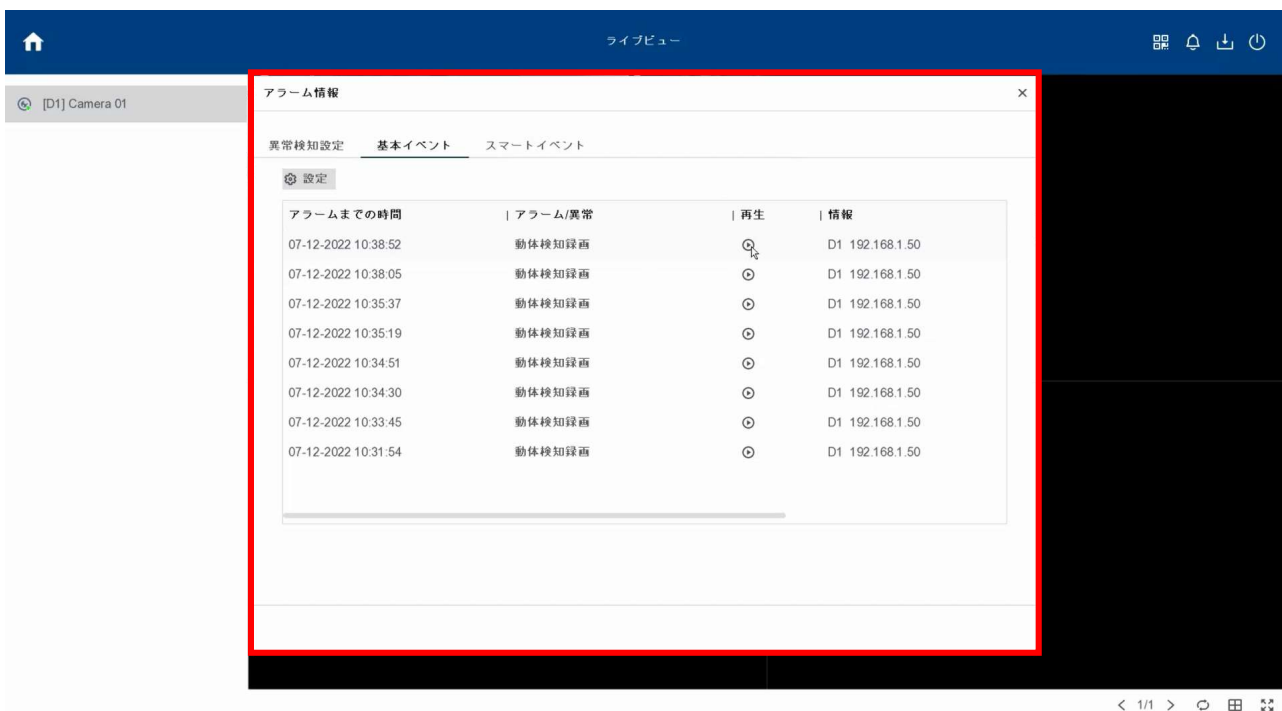
3. 録画の確認方法

3.2. 動体検知録画のイベントを再生

(1) 右上の[ベルマーク]をクリックします。



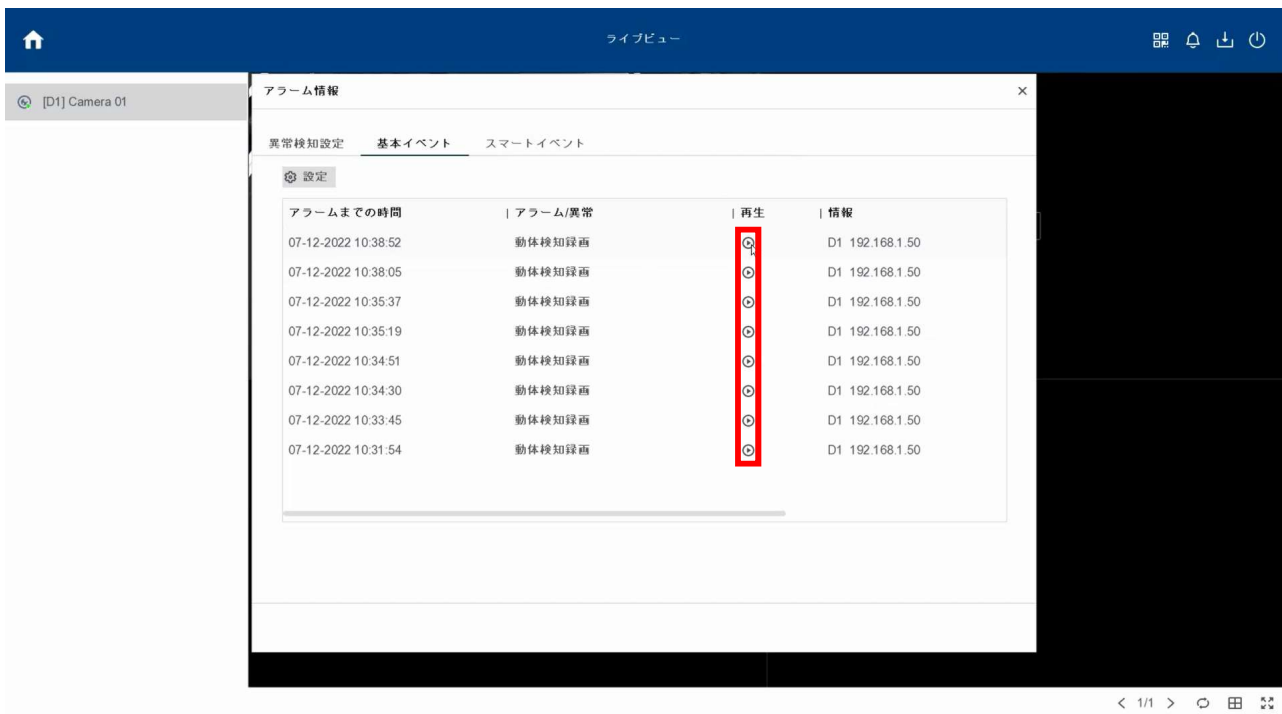
(2) アラームが通知されたイベントの録画映像が表示されます。



3. 録画の確認方法

3.2. 動体検知録画のイベントを再生

(3) 再生したい録画映像の[再生ボタン]をクリックします。



(4) 録画映像を再生します。

